

FFJ 検定特級プロジェクト報告書掲載にあたって

日本学校農業クラブ連盟代表

(千葉県立大網高等学校長)

松 林 謙 悟

文部科学省では、これまで各種審議会の提言・答申等の中で、社会における評価の多元化の観点から、高等学校職業学科等で専門的な職業教育を受ける者に対する公的職業資格取得の道の拡大の必要性を指摘しています。また職業教育においては、「生徒が各種の職業資格や技能・技術検定を目指すことは、目的意識をもった意欲的な学習活動を促すことにもつながる。」とし、検定の意義を述べています。

級位検定は、日本学校農業クラブ連盟が誕生した翌年の昭和26年から開始され、初めて特級位が授与されたのが第3回のFFJ全国大会からと聞いております。

FFJ 検定の目的は、農業クラブ員にとって、3年間をとおして毎日の農業学習や農業クラブ活動で学んできたことが、科学性、社会性、指導性という農業クラブの3大目標に照らして、どの程度まで到達したのか、その努力や学習の成果を一定の基準で評価して認定するものであります。

その達成度に応じて初級、中級、上級、特級の4段階級位証と級位章が与えられます。「特級」の内容としては(1)上級位取得者の中でも、農業クラブ活動の実績が特に優秀であること。(2)上級位取得者の中でも、プロジェクト活動の成果が特に優秀であること。等であります。

ここに紹介されたプロジェクト活動報告書は、全国から応募された中で特に優秀なものです。長い間継続的に研究を進めて来られたクラブ員、指導にあたられた先生方の熱意とご努力に深く感謝申し上げます。

この報告書を参考にしてプロジェクト活動が充実し、農業クラブがより一層発展することを願っております。

結びに、文部科学省添野教科調査官には大変ご多用のところ貴重なご指導、ご好評をいただきました。厚く御礼申し上げます。